

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ユビキタス

コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 家高 朋之

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 榎木 玲子

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	609	13.9	264	11.1	266	9.8	155	186.4
22年3月期第2四半期	535	44.5	237	144.4	242	139.2	54	283.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1,840.50	1,750.67
22年3月期第2四半期	649.18	638.96

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	2,165	1,973	90.8	23,229.73
22年3月期	2,074	1,787	85.9	21,294.92

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,965百万円 22年3月期 1,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,210	4.3	400	△13.7	400	△15.1	240	30.8	2,858.44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	85,570株	22年3月期	84,600株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	938株	22年3月期	938株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	84,462株	22年3月期2Q	83,609株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間は、ネットワーク分野におけるロイヤルティ収入が好調であったほか、ゲーム分野においても堅調に推移し、売上高においては当初予想を69,799千円上回る、合計609,799千円（前年同四半期累計期間比13.9%増）を計上しました。通期業績予想に対しては、売上高で50.4%、純利益で64.8%の達成率となり、当初の見込みを上回るペースで進捗しております。また、形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高506,380千円、サポート売上高31,369千円、及びソフトウェア受託開発売上高72,050千円となりました。分野別の業績については、以下のとおりです。

ネットワーク関連においては、2010年8月末時点で「Ubiquitous Network Framework」の累計出荷ライセンス数が全世界で2億本を達成しました。ネットワーク関連のうちゲーム分野においては、ニンテンドーDS向けWi-Fi対応ゲームの人気タイトルの発売もあり、売上高は堅調に推移しました。ネットワーク分野においては、国内大手電機メーカーのレコーダーに搭載された「Ubiquitous Network Framework」、国内大手電機メーカーが本年5月に発売したテレビに搭載された「Ubiquitous DTCIP-IP」が好調に量産ロイヤルティを獲得し売上を計上しております。また、放送事業者向けの放送機器関連での受託開発も売上高に寄与しました。

データベース関連では、当初の予想よりも進捗が遅れが見えるものの「Ubiquitous DeviceSQL」がデジタルカメラを中心に量産ロイヤルティを獲得し、売上を計上しました。潜在顧客向けの技術セミナーも継続開催し、採用拡大に向け営業活動に注力しております。

また、本年5月より販売を開始したバージョン4.3のさらなる機能強化版の開発も順調に進捗しており、年内にメジャー・バージョンアップを予定しております。

高速起動関連では、引き続き高い関心を頂き、国内外企業から「Ubiquitous QuickBoot」への引き合いも好調で、数社との間で大・中規模案件の評価実装を継続中です。また、5月に発表した株式会社アットマークテクノとの協業計画については、当初今秋の発売を目指して取り組んで参りましたが、当面は内外メーカーからの引合い対応を優先とし、同社とは、マーケティング活動などを含めた協業体制を引き続き継続して参ります。今年度中の製品採用に向けて、社内対応体制の整備を行いながら、営業活動を継続しております。なお、当初の計画通り、本分野の本格的な収益への寄与は次会計年度以降を予定しております。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として234,907千円（前年同四半期累計期間比23.0%増）を計上し、また、不動産賃借料等の経費として219,790千円（同42.4%増）を計上いたしました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は49,895千円（同13.6%増）です。

以上の結果、営業利益264,300千円（同11.1%増）、経常利益266,489千円（同9.8%増）、四半期純利益は155,453千円（同186.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より90,972千円増加して2,165,649千円となりました。満期までの期間が一年未満となった長期預金300,000千円の固定資産から流動資産への振り替え、売上債権の回収等により現金及び預金が367,149千円増加したこと、及び売上の増加に伴う売掛金の増加等により、流動資産は前事業年度末より431,911千円増加し1,849,450千円となりました。固定資産は、340,939千円減少して316,199千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より95,627千円減少して191,857千円となりました。

流動負債は、未払金41,659千円や未払法人税等53,737千円の減少等により、前事業年度末より103,862千円減少し、183,621千円となりました。固定負債は資産除去債務の計上により8,235千円増加して8,235千円となりました。

また、純資産は、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金が前事業年度末よりそれぞれ14,475千円増加して、資本金539,150千円及び資本準備金509,150千円となりました。利益剰余金は、四半期純利益155,453千円の計上により956,190千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より186,599千円増加して1,973,792千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の85.9%から90.8%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点において平成22年5月7日発表の通期業績予想を見直すべき重要な要素はなく、同予想を据え置くこととします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ554千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は8,193千円です。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,385,430	1,018,280
売掛金	424,490	345,420
仕掛品	11,329	—
前払費用	14,488	26,752
繰延税金資産	10,615	20,737
その他	3,096	6,348
流動資産合計	1,849,450	1,417,539
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,435	24,242
減価償却累計額	△2,529	△502
建物（純額）	29,905	23,739
工具、器具及び備品	33,001	32,464
減価償却累計額	△18,714	△15,882
工具、器具及び備品（純額）	14,286	16,582
有形固定資産合計	44,191	40,321
無形固定資産		
ソフトウェア	118,701	98,124
ソフトウェア仮勘定	24,282	27,547
商標権	2,576	2,755
無形固定資産合計	145,559	128,427
投資その他の資産		
長期預金	—	300,000
差入保証金	35,602	98,407
繰延税金資産	90,845	89,981
投資その他の資産合計	126,448	488,389
固定資産合計	316,199	657,138
資産合計	2,165,649	2,074,677

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,442	6,390
未払金	12,262	53,922
未払費用	12,256	12,480
未払法人税等	104,244	157,982
未払消費税等	13,184	20,138
前受金	17,713	30,153
未払配当金	2,210	2,325
預り金	4,305	4,091
流動負債合計	183,621	287,484
固定負債		
資産除去債務	8,235	—
固定負債合計	8,235	—
負債合計	191,857	287,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,150	524,675
資本剰余金	509,150	494,675
利益剰余金	956,190	800,737
自己株式	△38,511	△38,511
株主資本合計	1,965,979	1,781,576
新株予約権	7,813	5,617
純資産合計	1,973,792	1,787,193
負債純資産合計	2,165,649	2,074,677

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	461,441	506,380
サポート売上高	51,816	31,369
ソフトウェア受託開発売上高	22,000	72,050
売上高合計	535,257	609,799
売上原価	87,993	106,665
売上総利益	447,264	503,134
販売費及び一般管理費		
役員報酬	32,700	37,000
給料及び手当	49,133	62,402
賞与引当金繰入額	570	—
法定福利費	5,449	6,719
減価償却費	2,070	2,552
不動産賃借料	16,274	7,580
支払手数料	38,400	39,675
消耗品費	1,835	1,576
研究開発費	43,924	49,895
その他	19,033	31,432
販売費及び一般管理費合計	209,390	238,834
営業利益	237,873	264,300
営業外収益		
受取利息	2,435	463
雑収入	2,425	1,826
営業外収益合計	4,860	2,290
営業外費用		
為替差損	67	100
営業外費用合計	67	100
経常利益	242,666	266,489
特別損失		
投資有価証券評価損	126,958	—
本社移転損失引当金繰入額	23,276	—
特別損失合計	150,235	—
税引前四半期純利益	92,430	266,489
法人税、住民税及び事業税	108,147	101,777
法人税等調整額	△69,994	9,258
法人税等合計	38,153	111,036
四半期純利益	54,277	155,453

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当社は、組込ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。